

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
311	日本文学特殊研究 <Specialized Studies in Japanese Literature>			演習
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)		開講期 Semester	開講時間帯 Day and time
日本文学	塩村 耕(SHIMORA Koh)		後期	火曜：4限
講義題目 Title	中世人の連想の世界(2)			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	原則として（基本的に必ず）、前期・後期を通して受講すること。			
授業の目的 Purpose	『俳諧類船集』に見られる連想語彙のネットワークを解明することによって、過去の日本人の世界観を再構築することを究極の目的とする。同時にその注釈作業を通して、古典文学や芸能、説話など、関連する多彩な文献資料の調べ方や読み方、さらに民俗学的見地による語義の探り方を身に付ける。 The ultimate purpose of this course is to rebuild the view of the world of the Japanese in the past by solving the network of the association words in "Haikai Ruisensyu". At the same time, through the notation work, participants should be able to master examining various literature, and exploring meaning of words by the standpoint of the folklore.			
授業の内容 授業の方法 Content	1676年に刊行された連想語辞書『俳諧類船集』は、言葉の連想による俳諧文学の盛行を背景に編纂された。そのような俳諧は江戸時代前期の短い期間にのみ盛行したため、同種の書物はその後編まれず、日本語にとってほとんど唯一の豊富な連想語の資料となっている。そこに見られる連想関係は、現代人には難解で、辞書を引いてもわからないものも多い。前人未注解の同書を精読する。			
教科書 テキスト Textbooks	版本『俳諧類船集』写真版のプリントを配布する。			
参考書 References	主要参考文献は数多い。初回授業時に説明する。			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	・雑知識について興味を深めよう。とりわけ重要なのは、葬送と出産、子どもと老人、食に関する習俗。それらには普段から興味を持ち、年寄りの話に耳を傾ける人＝正しい若者になってもらいたい。 ・期間中に最低一度は「日本初の古書ミュージアム」西尾市岩瀬文庫を見学し、日本の書物文化の重厚について学んでおくこと（詳細は岩瀬文庫ホームページ参照）。			
成績評価の 方法と基準 Evaluation	発表時の熱意と成果40%。 討論参加への熱意10%。 発表時に残された課題について小論文にまとめたレポート50%。 なお、期末試験を受験しなかった者は「欠席」とする。			
連絡方法 Contact information	メールが幸甚。アドレスは講義時に知らせる。			